



各 位

平成 26 年 5 月 9 日

会 社 名 ダイニック株式会社
代表者名 代表取締役社長 大石 義夫
(コード番号 3551 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 木村 博
(TEL. 03-5402-3132)

業績予想の修正に関するお知らせ及び雪害に関する中間報告

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 5 月 17 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 26 年 2 月 15 日発生の雪害に関する中間報告をいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期通期(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)の業績予想数値の修正

(1) 個別業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	28,500	1,050	600	14.15
今 回 修 正 予 想 (B)	28,500	1,180	820	19.34
増 減 額 (B-A)	0	130	220	—
増 減 率 (%)	0.0%	12.4%	36.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	28,048	1,144	544	10.12

(2) 個別業績予想修正の理由

当社は売上高を維持しておりますが、厳しい環境下のもとで、徹底したコスト低減、より一層の経費圧縮に取り組み、経常利益は当初の業績予想を上回る見込みとなりました。また、子会社(台湾科楽史工業股份有限公司)の生産活動中止に伴う株式評価損等を特別損失に計上いたしましたが、繰延税金資産の評価性引当額の減少等当初見込みより法人税等の負担額の減少等もあり、当期純利益は当初の業績予想を上回る見込みとなりました。

(3) 連結業績に与える影響

上記の個別業績による連結業績に与える影響は、軽微であります。

2. 平成 26 年 2 月 15 日発生の雪害に関する中間報告

平成 26 年 2 月 17 日付 「埼玉工場での記録的な大雪による崩落事故に関するお知らせ」で、既報の通り 2 月 15 日の記録的な大雪により、弊社埼玉工場(埼玉県深谷市)において、一部建屋の崩落事故が発生致しました。

その後の調査で、不織布製造ラインを設置している2つの建屋に被害が集中している事が判明しました。

(1) 被害の状況

建屋等の資産関係や処理費用で約700百万円の損害の見込みですが、付保している保険金の範囲内で対応が可能な状況です。

(2) 生産体制について

不織布製造ラインは現状休止していますが、外注先との協力体制により、ほぼ雪害前の製品供給体制を整えております。

一方、不織布製造ラインの再構築に向けて、設置した対策本部で検討を進めており、平成27年3月期中の稼働開始を目指しています。

(3) 業績への影響について

平成27年3月期の業績への影響は現在精査をしており、平成26年3月期の決算発表時に平成27年3月期業績予測値として報告致します。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上